

平成24年経済センサス-活動調査 産業別集計 卸売業, 小売業

I 卸売業, 小売業の事業所数, 従業者数

平成24年2月1日現在で実施した経済センサス-活動調査における卸売業及び小売業の事業所数は17,888事業所（平成21年経済センサス-基礎調査（以下「平成21年基礎調査」という。）と比べると△9.1%）、従業者は150,130人（同△8.0%）となっている。

兵庫県, 全国の結果をみると, 事業所数では兵庫県は56,671事業所（同△10.6%）、全国は1,405,021事業所（同△9.7%）となっている。従業者数では兵庫県は426,705人（同△9.6%）、全国は11,225,151人（同△6.9%）となっている。神戸市, 兵庫県, 全国とも減少している。

表 I-1 事業所及び従業者数(神戸市, 兵庫県, 全国)

(単位: 人)

	H21	H24	前回比
	事	業	所
	数	数	数
神戸市	19,676	17,888	△ 9.1
兵庫県	63,371	56,671	△ 10.6
全国	1,555,333	1,405,021	△ 9.7
	従	業	者
	数	数	数
神戸市	163,203	150,130	△ 8.0
兵庫県	471,894	426,705	△ 9.6
全国	12,060,721	11,225,151	△ 6.9

注) 「事業所数」及び「従業者数」は, 必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計した。

注) 従業者数とは, 「個人業主」, 「無給家族従業者」, 「有給役員」及び「常用雇用者」の計であり, 臨時雇用者は含めていない。

注) 後掲表第 I, II 表に該当する。

Ⅱ 産業分類別の事業所数

卸売業、小売業別にみると、卸売業は4,972事業所（平成21年基礎調査と比べると△10.0%）、従業者数は52,664人（同△5.6%）、小売業は12,916事業所（同△8.7%）、従業者数は97,466人（同△9.2%）となっている。事業所、従業者ともに小売業の占める割合が大きい。

表Ⅱ-1 産業中分類別事業所数及び従業者数

産業（中分類）	事業所			従業者数		
	H21	H24	前回比	H21	H24	前回比
卸売業，小売業	19,676	17,888	△ 9.1	163,203	150,130	△ 8.0
卸売業計	5,525	4,972	△ 10.0	55,817	52,664	△ 5.6
各種商品卸売業	16	27	68.8	78	321	311.5
繊維・衣服等卸売業	571	547	△ 4.2	5,751	6,615	15.0
飲食物品卸売業	1,138	1,028	△ 9.7	12,997	11,162	△ 14.1
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	898	979	9.0	6,193	8,597	38.8
機械器具卸売業	1,442	1,220	△ 15.4	14,512	12,427	△ 14.4
その他の卸売業	1,460	1,084	△ 25.8	16,286	12,508	△ 23.2
小売業計	14,151	12,916	△ 8.7	107,386	97,466	△ 9.2
各種商品小売業	55	34	△ 38.2	8,378	4,625	△ 44.8
繊維・衣服・身の回り品小売業	2,868	2,761	△ 3.7	14,601	14,127	△ 3.2
飲食物品小売業	4,404	3,884	△ 11.8	39,713	36,483	△ 8.1
機械器具小売業	1,445	1,270	△ 12.1	11,771	9,631	△ 18.2
その他の小売業	5,213	4,538	△ 12.9	32,106	28,436	△ 11.4
無店舗小売業	166	378	127.7	817	3,748	358.8

注) 平成24年の卸売業計、小売業計には格付け不能を含む。

注) 「事業所数」及び「従業者数」は、必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計した。

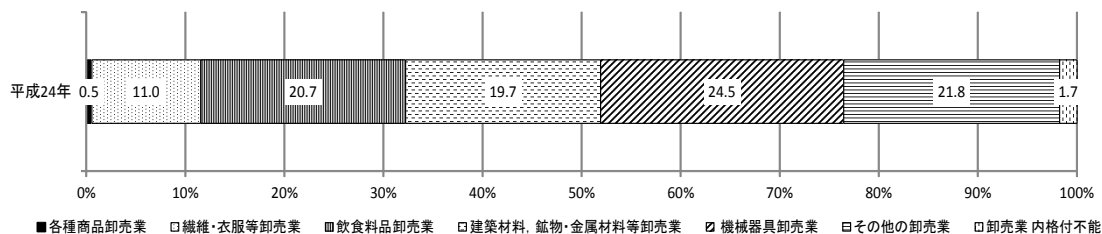
注) 従業者数とは、「個人業主」、「無給家族従業者」、「有給役員」及び「常用雇用者」の計であり、臨時雇用者を含めていない。

注) 後掲表第Ⅰ、Ⅱ表の数値に該当する。

(1) 事業所数

卸売業の事業所数を産業中分類別にみると、「機械器具卸売業」が1,220事業所（卸売業に占める構成比24.5%）と最も多く、次いで、「その他の卸売業」1,084事業所（同21.8%）、「飲食物品卸売業」1,028事業所（同20.7%）となっている。

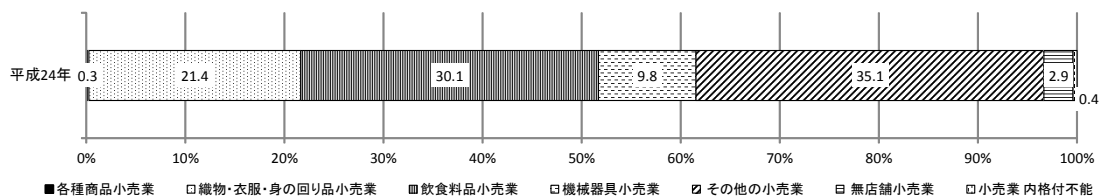
図Ⅱ-1 卸売業の産業中分類別事業所の構成比



注) 必要な事項の数値が得られた事業所を対象として算出した。

小売業の事業所を産業中分類別にみると、「その他の小売業」が4,538事業所（小売業に占める構成比35.1%）と最も多く、次いで、「飲食料品小売業」3,884事業所（同30.1%）、「織物・衣服・身の回り品小売業」2,761事業所（同21.4%）となっている。

図Ⅱ-2 小売業の産業中分類別事業所の構成比

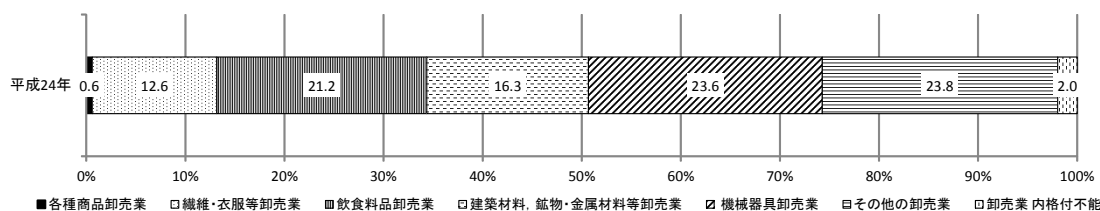


注) 必要な事項の数値が得られた事業所を対象として算出した。

(2) 従業者数

卸売業の従業者数をみてみると、「その他の卸売業」が、12,508人（卸売業に占める構成比23.8%）、「機械器具卸売業」12,427人（同23.6%）、「飲食料品卸売業」11,162人（同21.2%）となっている。

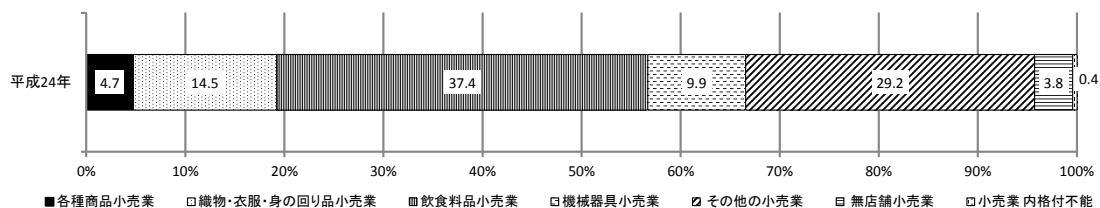
図Ⅱ-3 卸売業の産業中分類別従業者の構成比



注1) 「従業者数」とは、「個人業主」、「無給家族従業者」、「有給役員」及び「常用雇用者」の計であり臨時雇用者は含めていない。
注2) 必要な事項の数値が得られた事業所を対象として算出した。

小売業の従業者数をみてみると、「飲食料品小売業」36,483人（小売業に占める構成比37.4%）が最も多く、次いで「その他の小売業」28,436人（同29.2%）、「織物・衣服・身の回り品小売業」14,127人（同14.5%）となっている。

図Ⅱ-4 小売業の産業中分類別従業者の構成比



注1) 「従業者数」とは、「個人業主」、「無給家族従業者」、「有給役員」及び「常用雇用者」の計であり臨時雇用者は含めていない。
注2) 必要な事項の数値が得られた事業所を対象として算出した。

Ⅲ 年間商品販売額

卸売業及び小売業の事業所のうち、商業の売上（収入）金額があり、産業細分類の格付けに必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計した年間商品販売額は5兆5,488億円となっている。

産業分類別に年間商品販売額をみると、卸売業の年間商品販売額は4兆1,043億円であった。産業中分類別にみると、「飲食料品卸売業」が1兆1,459億円（卸売業に占める構成比27.9%）と最も多く、次いで「建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」が1兆672億円（同26.0%）、「機械器具卸売業」7,917億円（同19.3%）などとなっている。

表Ⅲ-1 卸売業の業種別年間販売商品額(平成24年)

(単位：百万円)

産業分類 (中分類, 小分類)	年間販売商品額		事業所数 (年間商品販売額の集計対象)	
		構成比(%)		構成比(%)
卸売業計	4,104,265	100.0	3,534	100.0
各種商品卸売業	30,011	0.7	23	0.7
繊維・衣服等卸売業	358,782	8.7	364	10.3
繊維品卸売業(衣服, 身の回り品を除く)	6,251	0.2	36	1.0
衣服卸売業	117,808	2.9	120	3.4
身の回り品卸売業	234,724	5.7	208	5.9
飲食料品卸売業	1,145,932	27.9	776	22.0
農畜産物・水産物卸売業	601,610	14.7	419	11.9
食料・飲料卸売業	544,322	13.3	357	10.1
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	1,067,242	26.0	744	21.1
建築材料卸売業	114,796	2.8	234	6.6
化学製品卸売業	98,706	2.4	172	4.9
石油・鉱物卸売業	209,951	5.1	51	1.4
鉄鋼製品卸売業	500,130	12.2	84	2.4
非鉄金属卸売業	110,943	2.7	135	3.8
再生資源卸売業	32,715	0.8	68	1.9
機械器具卸売業	791,749	19.3	866	24.5
産業機械器具卸売業	238,815	5.8	358	10.1
自動車卸売業	88,505	2.2	142	4.0
電気機械器具卸売業	183,167	4.5	189	5.3
その他の機械器具卸売業	281,263	6.9	177	5.0
その他の卸売業	710,549	17.3	761	21.5
家具・建具・じゅう器等卸売業	47,521	1.2	131	3.7
医薬品・化粧品等卸売業	458,065	11.2	169	4.8
紙・紙製品卸売業	24,967	0.6	59	1.7
他に分類されない卸売業	179,996	4.4	402	11.4

注) 「年間商品販売額」及び「事業所数」は、「I 卸売業, 小売業」に格付けされた事業所のうち、「事業所別売上(収入額)金額」の「商業」に金額があり、産業細分類の格付けに必要な事項の数値が得られた事業所を対象と集計した。

注) 後掲表第Ⅲ表以降に該当する。

小売業の年間商品販売額は1兆4,446億円であった。産業中分類別にみると、「飲食料
品小売業」が3,808億円（小売業に占める割合26.4%）と最も多く、次いで「その他の小売
業」3,649億円（同25.3%）、「機械器具小売業」2,182億円（同15.1%）などとなっている。
産業小分類別にみると「各種食料品小売業」2,108億円（同14.6%）、「百貨店、総合
スーパー」1,813億円（同12.6%）、「婦人・子供服小売業」1,240億円（同8.6%）、「自動
車小売業」1,130億円（同7.8%）となっている。

表Ⅲ-2 小売業の業種別年間商品販売額(平成24年)

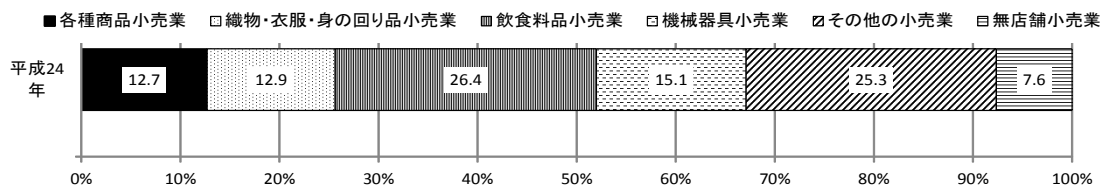
(単位：百万円)

産業分類 (中分類, 小分類)	年間販売商品額		事業所数 (年間商品販売額の 集計対象)	
	金額	構成比(%)	事業所数	構成比(%)
小売業計	1,444,565	100.0	8,933	100.0
各種商品小売業	183,447	12.7	32	0.4
百貨店、総合スーパー	181,316	12.6	20	0.2
その他の各種商品小売業(従業者が当時50人未満のもの)	2,131	0.1	12	0.1
織物・衣服・身の回り品小売業	186,834	12.9	1,766	19.8
呉服・服地・寝具小売業	5,160	0.4	157	1.8
男子服小売業	23,983	1.7	236	2.6
婦人・子供服小売業	124,032	8.6	813	9.1
靴・履物小売業	9,473	0.7	164	1.8
その他の織物・衣服・身の回り品小売業	24,187	1.7	396	4.4
飲食料品小売業	380,769	26.4	2,831	31.7
各種食料品小売業	210,808	14.6	204	2.3
野菜・果実小売業	6,424	0.4	184	2.1
食肉小売業	10,506	0.7	172	1.9
鮮魚小売業	6,124	0.4	118	1.3
酒小売業	15,758	1.1	452	5.1
菓子・パン小売業	32,100	2.2	544	6.1
その他の飲食料品小売業	99,051	6.9	1,157	13.0
機械器具小売業	218,247	15.1	867	9.7
自動車小売業	113,007	7.8	445	5.0
自転車小売業	1,428	0.1	64	0.7
機械器具小売業(自動車, 自転車を除く)	103,812	7.2	358	4.0
その他の小売業	364,922	25.3	3,172	35.5
家具・建具・畳小売業	15,319	1.1	174	1.9
じゅう器小売業	3,721	0.3	135	1.5
医薬品・化粧品小売業	100,709	7.0	751	8.4
農耕用品小売業	1,488	0.1	32	0.4
燃料小売業	75,882	5.3	195	2.2
書籍・文房具小売業	36,855	2.6	364	4.1
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	25,174	1.7	228	2.6
写真機・時計・眼鏡小売業	11,898	0.8	203	2.3
他に分類されない小売業	93,877	6.5	1,090	12.2
無店舗小売業	110,345	7.6	265	3.0
通信販売・訪問販売小売業	88,688	6.1	184	2.1
自動販売機による小売業	16,398	1.1	41	0.5
その他の無店舗小売業	5,259	0.4	40	0.4

注) 「年間商品販売額」及び「事業所数」は、「I 卸売業, 小売業」に格付けされた事業所のうち、「事業所別売上(収入額)金額」の「商業」に金額があり、産業細分類の格付けに必要な事項の数値が得られた事業所を対象と集計した。

注) 後掲表Ⅲ表以降に該当する。

図Ⅲ-1 小売業の産業中分類別年間商品販売額の構成比



注) 「年間商品販売額」及び「事業所数」は、「I 卸売業, 小売業」に格付けされた事業所のうち、「事業所別売上(収入額)金額」の「商業」に金額があり、産業細分類の格付けに必要な事項の数値が得られた事業所を対象と集計した。

IV 単位当たりの年間商品販売額(販売効率)

(1) 卸売業

卸売業の1事業所当たりの年間商品販売額は11億6,499万円であった。小分類別にみると、「鉄鋼製品卸売業」が59億5,393万円と最も高く、次いで「石油・鉱物卸売業」41億1,668万円となっている。

従業者1人当たりの年間商品販売額は1億1,015万円であった。小分類別にみると、「石油・鉱物卸売業」が4億2,752万円と最も高く、次いで「鉄鋼製品卸売業」2億7,300万円となっている。

表IV-1 卸売業の業種(中,小分類)別1事業所当たり、
従業者1人当たりの年間商品販売額

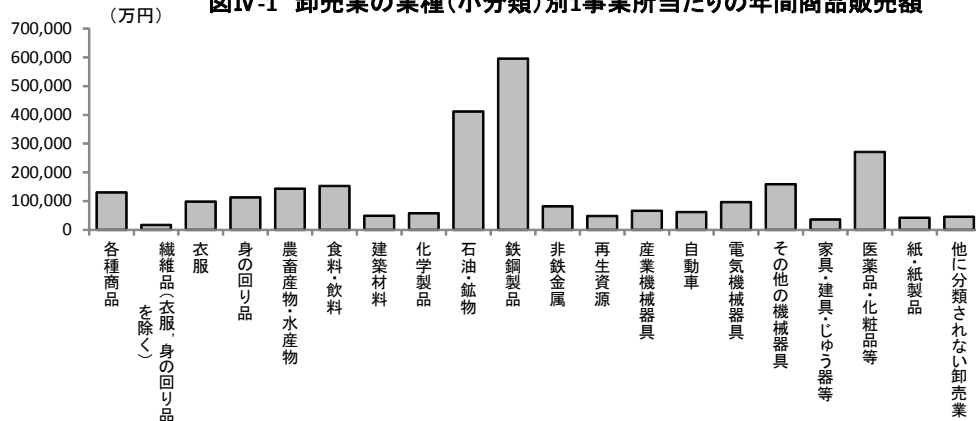
産 業 分 類	(単位：万円)	
	1事業所当たりの 年間商品販売額	従業者1人当たりの 年間商品販売額
卸 売 業 計	116,499	11,015
各種商品卸売業	130,484	10,349
繊維品卸売業(衣服,身の回り品を除く)	17,363	3,981
衣服卸売業	98,173	4,812
身の回り品卸売業	112,848	13,576
農畜産物・水産物卸売業	143,582	14,255
食料・飲料卸売業	152,471	13,689
建築材料卸売業	49,058	7,538
化学製品卸売業	57,387	7,560
石油・鉱物卸売業	411,668	42,752
鉄鋼製品卸売業	595,393	27,300
非鉄金属卸売業	82,180	7,386
再生資源卸売業	48,111	8,261
産業機械器具卸売業	66,708	7,545
自動車卸売業	62,327	6,961
電気機械器具卸売業	96,914	10,238
その他の機械器具卸売業	158,906	10,526
家具・建具・じゅう器等卸売業	36,276	6,294
医薬品・化粧品等卸売業	271,045	12,137
紙・紙製品卸売業	42,317	5,484
他に分類されない卸売業	46,035	5,141

注) 「従業者」とは、「個人事業主」、「無給家族従業者」、「有給役員」及び「常用雇用者」の計であり、臨時雇用者は含めていない。

注) 「卸売業,小売業」に格付けされた事業所のうち、「事業別売上(収入)金額」の「商業」に金額があり、産業細分類の格付けに必要な事項の数値が得られた事業所を対象として算出した。

注) 「従業者1人当たりの年間販売商品額」は「パートアルバイトなど」の従業者について8時間換算したものを
用いて算出した。

図IV-1 卸売業の業種(小分類)別1事業所当たりの年間商品販売額



(2) 小売業

小売業の1事業所当たりの年間商品販売額は1億6,171万円となった。産業小分類別にみると、「百貨店、総合スーパー」が90億6,578万円と最も高く、次いで「各種食料品小売業」10億3,337万円となっている。

従業者1人当たりの年間商品販売額は2,590万円となった。産業小分類別にみると、「自動販売機による小売業」が7,386万円と最も高く、次いで「燃料小売業」5,638万円、「百貨店、総合スーパー」5,116万円となっている。

売場面積1㎡当たりの年間商品販売額は71万円となった。産業小分類別にみると、「医薬品・化粧品小売業」が145万円と最も高く、次いで「食肉小売業」141万円、「鮮魚小売業」123万円となっている。

※従業者1人当たりの年間商品販売額は「パート・アルバイトなど」の従業者について8時間換算したものをを用いて算出した。

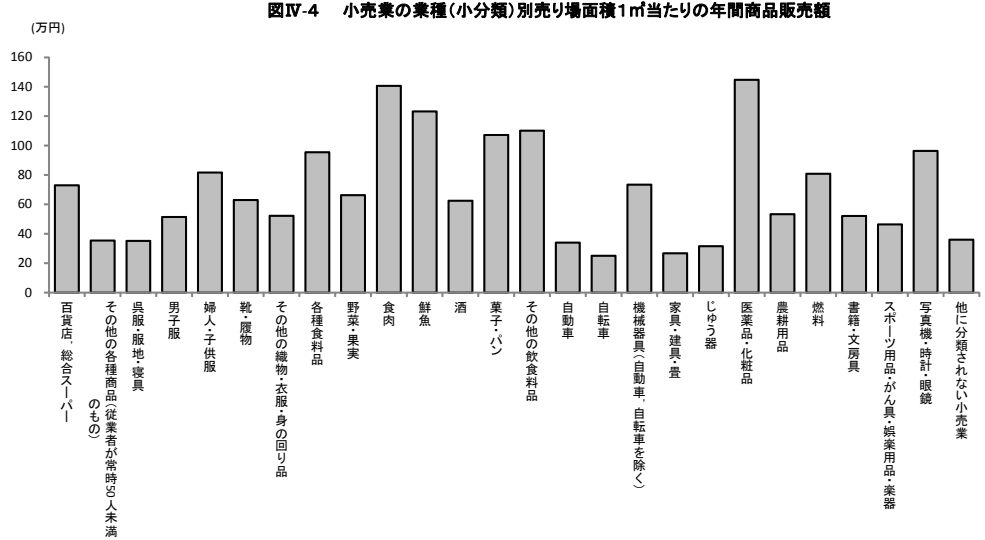
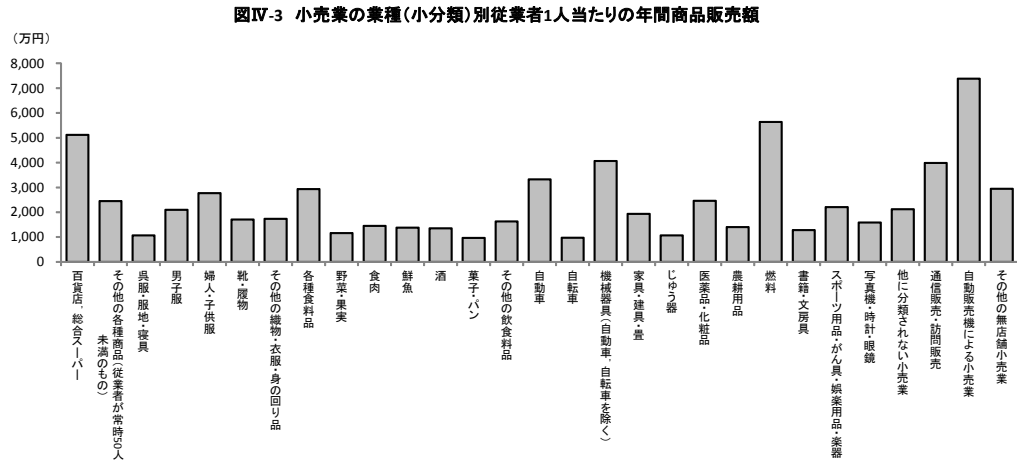
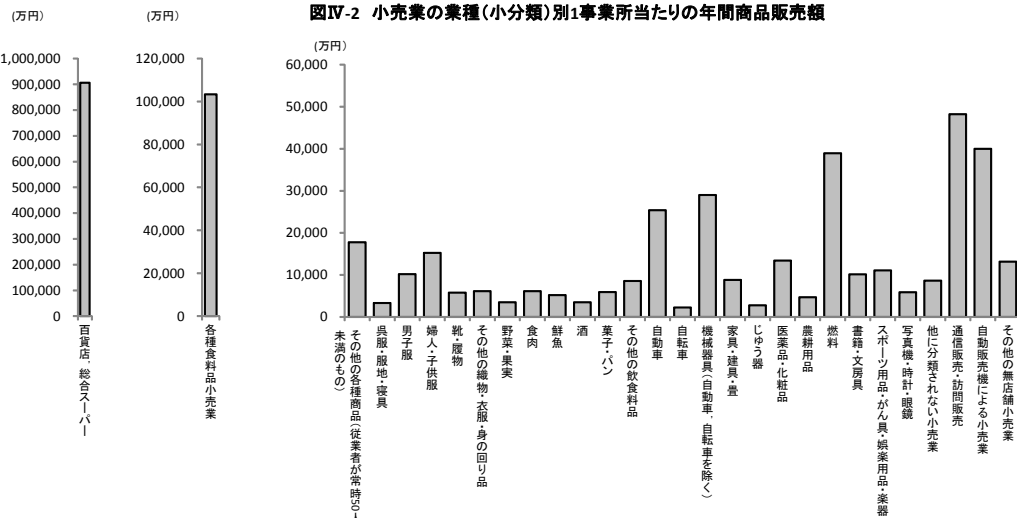
表IV-2 小売業の業種(中, 小分類)別1事業所当たり, 従業者1人当たり, 売場面積1㎡当たり年間商品販売額

産業分類 (小分類)	(単位: 万円)		
	1事業所当たり 年間商品販売額	従業者1人当たり 年間商品販売額	売り場面積 1㎡当たり 年間商品販売額
小 売 業 計	16,171	2,590	71
百貨店、総合スーパー	906,578	5,116	73
その他の各種商品小売業 (従業者が常時50人未満のもの)	17,761	2,450	35
呉服・服地・寝具小売業	3,287	1,065	35
男子服小売業	10,162	2,099	51
婦人・子供服小売業	15,256	2,767	82
靴・履物小売業	5,776	1,707	63
その他の織物・衣服・身の回り品小売業	6,108	1,734	52
各種食料品小売業	103,337	2,935	95
野菜・果実小売業	3,491	1,162	66
食肉小売業	6,108	1,453	141
鮮魚小売業	5,190	1,379	123
酒小売業	3,486	1,354	62
菓子・パン小売業	5,901	967	107
その他の飲食料品小売業	8,561	1,630	110
自動車小売業	25,395	3,326	34
自転車小売業	2,231	972	25
機械器具小売業 (自動車, 自転車を除く)	28,998	4,063	73
家具・建具・畳小売業	8,804	1,937	27
じゅう器小売業	2,756	1,069	31
医薬品・化粧品小売業	13,410	2,459	145
農耕用品小売業	4,650	1,404	53
燃料小売業	38,914	5,638	81
書籍・文房具小売業	10,125	1,280	52
スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	11,041	2,207	46
写真機・時計・眼鏡小売業	5,861	1,584	96
他に分類されない小売業	8,613	2,121	36
通信販売・訪問販売小売業	48,200	3,988	…
自動販売機による小売業	39,994	7,386	…
その他の無店舗小売業	13,148	2,950	…

注) 「従業者」とは、「個人事業主」, 「無給家族従業者」, 「有給役員」及び「常用雇用者」の計であり, 臨時雇用者は含めていない。

注) 「1卸売業, 小売業」に格付けされた事業所のうち, 「事業別売上(収入)金額」の「商業」に金額があり, 産業細分類の格付けに必要な事項の数値が得られた事業所を対象として算出した。

注) 「従業者1人当たりの年間販売商品額」は「パートアルバイトなど」の従業者について8時間換算したものをを用いて算出した。



V 区別の商業

(1) 事業所数

平成24年2月1日現在で実施した経済センサス-活動調査における卸売業、小売業の事業所数をみると、中央区が5,396事業所（全市に占める割合30.2%）と最も多く、次いで兵庫区2,156事業所（同12.1%）、東灘区1,876事業所（10.5%）となっており、この3区で全市の5割を占める。

卸売業の事業所数をみると、中央区が1,767事業所（全市における卸売業に占める割合35.5%）と最も多く、次いで兵庫区814事業所（同16.4%）、東灘区550事業所（同11.1%）と3区で全市の6割以上を占める。この3区の卸売業を中分類別にみると、中央区では「機械器具卸売業」503事業所、「その他の卸売業」が453事業所となっている。兵庫区、東灘区では「飲食料品卸売業」が最も多い。

小売業の事業所数をみると、中央区が3,629事業所（全市における小売業に占める割合28.1%）と最も多く、次いで兵庫区1,342事業所（同10.4%）、東灘区1,326事業所（同10.3%）と3区で全市の5割弱を占める。この3区を中分類別にみると、中央区では「織物・衣服・身の回り品小売業」が1,303事業所、「その他の小売業」が1,267事業所となっている。兵庫区、東灘区では「飲食料品小売業」、「その他の小売業」が多い。

表V-1 産業中分類別区別事業所数

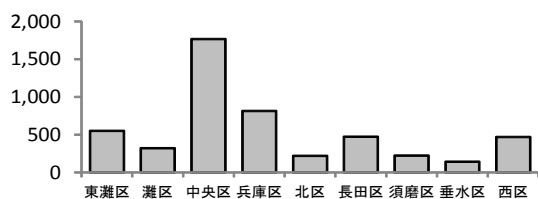
産 業 中 分 類	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	長田区	須磨区	垂水区	西区
卸 売 業 ， 小 売 業	17,888	1,876	1,379	5,396	2,156	1,457	1,574	1,081	1,386	1,583
卸 売 業 計	4,972	550	318	1,767	814	219	472	223	142	467
各 種 商 品 卸 売 業	27	3	1	14	5	-	1	2	-	1
織 維 ・ 衣 服 等 卸 売 業	547	54	27	228	31	13	125	43	7	19
飲 食 料 品 卸 売 業	1,028	179	65	293	266	44	60	39	31	51
建 築 材 料 ， 鉱 物 ・ 金 属 材 料 等 卸 売 業	979	82	67	253	171	49	119	47	46	145
機 械 器 具 卸 売 業	1,220	92	79	503	197	52	80	40	24	153
そ の 他 の 卸 売 業	1,084	123	76	453	135	60	79	42	28	88
小 売 業 計	12,916	1,326	1,061	3,629	1,342	1,238	1,102	858	1,244	1,116
各 種 商 品 小 売 業	34	3	2	8	2	3	-	2	4	10
織 物 ・ 衣 服 ・ 身 の 回 り 品 小 売 業	2,761	221	160	1,303	183	252	145	138	256	103
飲 食 料 品 小 売 業	3,884	438	370	775	499	339	450	333	375	305
機 械 器 具 小 売 業	1,270	151	113	159	126	150	122	72	138	239
そ の 他 の 小 売 業	4,538	456	381	1,267	493	460	349	292	437	403
無 店 舗 小 売 業	378	53	30	100	35	29	33	20	33	45

注) 卸売業計、小売業計には格付け不能を含む。

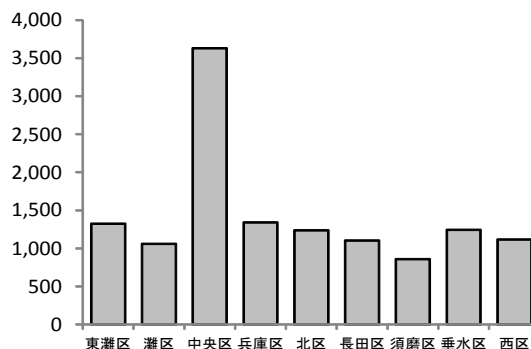
注) 「事業所数」及び「従業者数」は、必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計した。

注) 後掲表第II表に該当する。

図V-1 区別卸売業事業所数



図V-2 区別小売業事業所数



(2) 従業者数

卸売業、小売業の従業者数をみると、中央区が50,535人（全市における割合33.7%）と最も多く、次いで東灘区18,613人（同12.4%）、西区16,564人（同11.0%）となっており、この3区で全市の6割近くを占めている。

卸売業の従業者数をみると中央区が23,912人と全市における卸売業の割合の45.4%を占める。中央区を産業中分類別にみると「機械器具卸売業」6,211人、「その他の卸売業」6,129人となっており、この2産業で中央区における卸売業の5割を占める。

小売業の従業者数をみると、中央区が26,623人（全市における小売業に占める割合27.3%）、西区12,103人（同12.4%）、東灘区12,019人（同12.3%）となっている。この3区を産業中分類別にみると中央区では「織物・衣服・身の回り品小売業」、「飲食料品小売業」、「その他の小売業」が多く、この3産業で中央区の小売業の8割を占めている。西区、東灘区では「飲食料品小売業」「その他の小売業」が多い。

V-2表 産業中分類別従業者数

産 業 中 分 類	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	長田区	須磨区	垂水区	西区
卸 売 業 , 小 売 業	150,130	18,613	9,036	50,535	14,586	12,044	8,670	10,230	9,852	16,564
卸 売 業 計	52,664	6,594	2,524	23,912	7,549	891	3,183	2,905	645	4,461
各 種 商 品 卸 売 業	321	17	9	188	35	-	11	51	-	10
織 維 ・ 衣 服 等 卸 売 業	6,615	390	127	3,977	201	38	832	884	15	151
飲 食 料 品 卸 売 業	11,162	1,809	710	3,107	2,987	168	610	562	233	976
建 築 材 料 , 飲 物 ・ 金 属 材 料 等 卸 売 業	8,597	551	477	4,036	1,275	205	633	216	170	1,034
機 械 器 具 卸 売 業	12,427	963	517	6,211	1,775	266	579	569	97	1,450
そ の 他 の 卸 売 業	12,508	2,589	618	6,129	1,203	211	471	490	113	684
小 売 業 計	97,466	12,019	6,512	26,623	7,037	11,153	5,487	7,325	9,207	12,103
各 種 商 品 小 売 業	4,625	247	4	1,296	199	512	-	494	555	1,318
織 物 ・ 衣 服 ・ 身 の 回 り 品 小 売 業	14,127	946	450	7,653	434	1,505	414	1,084	1,092	549
飲 食 料 品 小 売 業	36,483	5,730	3,153	7,017	3,036	4,220	2,646	2,945	3,226	4,510
機 械 器 具 小 売 業	9,631	1,206	737	1,735	768	1,036	529	711	1,055	1,854
そ の 他 の 小 売 業	28,436	3,367	2,012	7,221	2,242	3,564	1,665	1,913	3,165	3,287
無 店 舗 小 売 業	3,748	508	119	1,611	324	243	227	176	112	428

注) 卸売業計、小売業計には格付け不能を含む。

注) 「事業所数」及び「従業者数」は、必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計した。

注) 従業者数とは、「個人業主」、「無給家族従業者」、「有給役員」及び「常用雇用者」の計であり、臨時雇用者は含めていない。

注) 後掲表第Ⅱ表に該当する。

図 V-3 区別卸売業従業者数

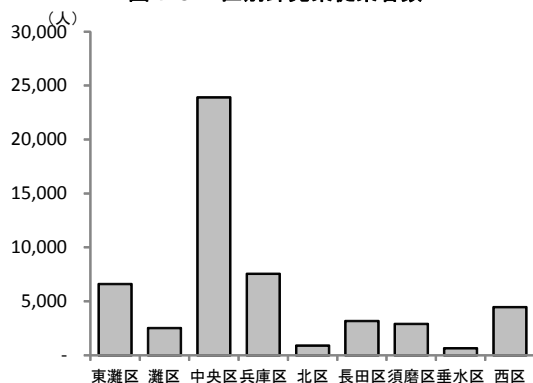
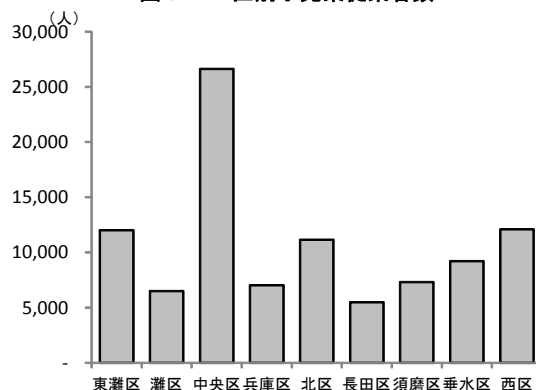


図 V-4 区別小売業従業者数



(3) 年間商品販売額

卸売業及び小売業の事業所のうち、商業の売上（収入）金額があり、産業細分類の格付けに必要な事項の数値が得られた事業所を対象として集計した年間商品販売額でみると卸売業では中央区が2兆6,743億円と最も多く、全市における卸売業の65.2%を占めている。次いで兵庫区の4,238億円、東灘区の3,482億円などとなっている。

小売業では中央区が4,777億円と最も多く、次いで西区2,060億円、東灘区1,660億円となっている。この3区で全市の小売業に占める割合は6割近くとなっている。

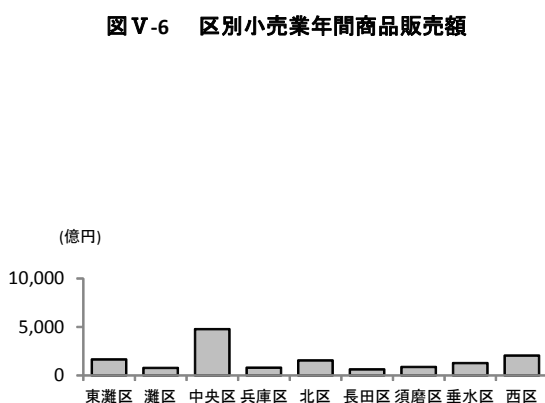
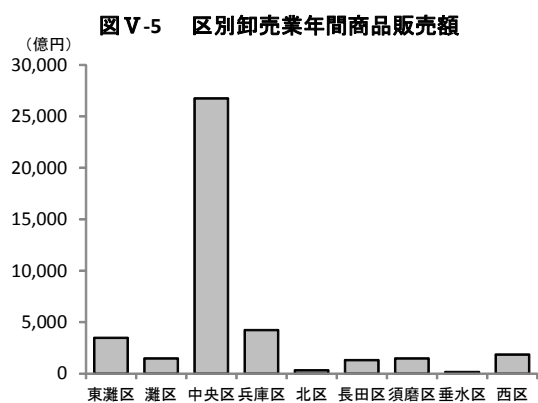
表 V-3 区別卸売業の年間販売商品額

(単位：百万円)

区	卸 売 業		小 売 業	
	年間販売商品額	事業所数 (年間商品販売額 の集計対象)	年間販売商品額	事業所数 (年間商品販売額 の集計対象)
全 市	4,104,265	3,534	1,444,565	8,933
東 灘 区	348,197	357	165,973	884
灘 区	147,387	227	79,419	760
中 央 区	2,674,324	1,240	477,677	2,215
兵 庫 区	423,831	629	79,717	1,031
北 区	31,187	161	154,760	860
長 田 区	130,045	335	63,493	858
須 磨 区	148,311	158	88,740	625
垂 水 区	15,744	103	128,772	895
西 区	185,240	324	206,013	805

注) 「年間商品販売額」及び「事業所数」は、「I 卸売業,小売業」に格付けされた事業所のうち、「事業所別売上（収入額）金額」の「商業」に金額があり、産業細分類の格付けに必要な事項の数値が得られた事業所を対象と集計した。

注) 後掲表第Ⅲ表以降に該当する。



(4) 小売業の商店規模

1事業所あたりの従業者数は西区が11.4人と最も多く、次いで北区の9.5人、東灘区の8.8人となっている。

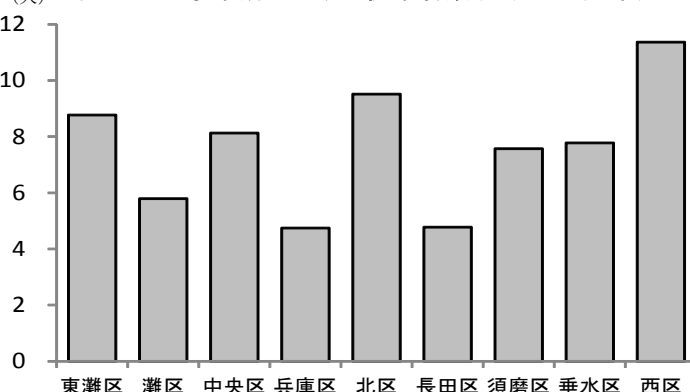
1事業所当たりの年間商品販売額は西区が2億5,592万円と最も多い。次いで中央区が2億1,566万円、東灘区1億8,775万円となっている。

1事業所当たりの売場面積は西区が398.1㎡と最も広く、次いで北区300.3㎡、垂水区256.9㎡となっている。

表V-4 小売業の区別1事業所あたりの従業者数

(単位：人)	
区	平成24年
全 市	7.6
東 灘 区	8.8
灘 区	5.8
中 央 区	8.1
兵 庫 区	4.7
北 区	9.5
長 田 区	4.8
須 磨 区	7.6
垂 水 区	7.8
西 区	11.4

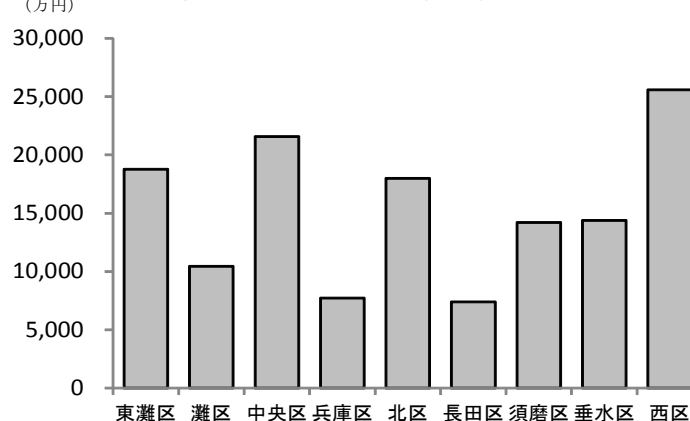
図V-7 1事業所あたりの従業者数(区別 小売業)



表V-5 小売業の区別1事業所当たりの年間販売商品額

(単位：万円)	
区	平成24年
全 市	16,171
東 灘 区	18,775
灘 区	10,450
中 央 区	21,566
兵 庫 区	7,732
北 区	17,995
長 田 区	7,400
須 磨 区	14,198
垂 水 区	14,388
西 区	25,592

図V-8 1事業所当たりの年間販売商品額(区別 小売業)



表V-6 小売業の区別1事業所当たりの売場面積

(単位：㎡)	
区	平成24年
全 市	203.1
東 灘 区	202.2
灘 区	129.1
中 央 区	214.8
兵 庫 区	86.1
北 区	300.3
長 田 区	111.2
須 磨 区	157.1
垂 水 区	256.9
西 区	398.1

図V-9 1事業所当たりの売場面積(区別 小売業)

